

令和3年9月27日

一般社団法人臨床ゲノム医療学会  
理事、監事、役員 各位

## ご 連 絡

臨床ゲノム医療学会の皆様には、それぞれの分野において益々のご活躍のことと存じます。

役員の皆様へのご連絡が遅くなりました事誠に申し訳ございません。

現在、臨床ゲノム医療学会は事業活動をコロナ禍の関係及び社団の現在の財政からも慎重を期して再構築し、活動再開に向けて社会情勢を伺っている状況にあることは、役員の皆様には既にご承知のことと存じます。

しかしながら、今後の社団の方向性等を熟慮しました結果、私が理事長の業務を全うするには高齢であり、社団の先頭に立って指揮することは困難だと判断致しました。

つきましては、定款や法令には特段の規定はありませんが、理事長の専任事項として、社団の活動再開に向け、理事長代行職を置くことといたしました。

そのためには、今後社団が、その活動の場を広げ発展していくためにも積極的に事業を進めていただける方に、社団の実務及び事務業務を委託し、理事長代行職にご就任いただけることが最善であると考えました。

理事長としまして、渥美和彦の遺志「医工連携」を継いで頂ける飯田修一顧問が代行職に就かれるのが適任であると思ひ、既に、飯田修一顧問にはその旨打診し、飯田顧問からは就任のご承諾を得ております。

今後は学会の活動、事業展開、事務業務に関し飯田修一顧問に理事長代行としてその任に当たっていただけることをご報告申し上げます。

敬具

一般社団法人 臨床ゲノム医療学会  
理事長 渥美 英子

113-0023 東京都文京区向丘 1-6-2  
Mail address: [mail@rinsho-genome.jp](mailto:mail@rinsho-genome.jp)

理事長代行 飯田修一

(株)現代建築研究所 代表取締役社長 (都市計画、建築設計、地方創生)

## 経歴

- 1955年 神奈川県栄光学園中高等学校卒
- 1979年 東京大学工学部建築学科卒 (株)現代建築研究所入社  
国際協力事業団 (JICA) 出向
- 1998年 (株)現代建築研究所 代表取締役社長～現在に至る

## 業務

東大、名大、早大、東京女子医大、国立病院機構、自治体、  
医療福祉法人の病院、医学研究所、民間企業の建築設計、都  
市再開発、都市計画 (国内外)、地域開発調査 (国内外)、  
東京国際フォーラム設計協力、  
事業企画コンサルティング (国内外)

## 団体役職

建築学会、医業経営コンサルタント協会、東京建築設計年  
金基金理事、渥美和彦記念財団理事

## 受賞

日本建築家協会優秀建築選、中部建築賞、BCS賞 (建設業  
協会賞)、その他

## 資格

一級建築士